



たかしま takashima

2007 あけましておめでとうございます A Happy New Year!



市政各般にわたりご協力いただいております皆様への書面による年始のご挨拶はご遠慮させていただいております。

【「第30回熱気球琵琶湖横断(安曇川町下小川)」にて】

1月号
平成19年

CONTENTS 目次

今、甦る古代高島	2~5
タウンピックアップ	6~9
生き生き元気生活応援します	10
市長日記・シリーズ環の郷	11
教育委員会 Information	12・13
みんなで子育て、親育ち! 地域で子育て、親育て!	14・15
まちネタ写真館	16・17
健康生活してますか?	18・19
そうだ、図書館に行こう!	20・21
みんなのページ	22・23
情報お知らせ版	24~26
文化情報	27
病院・警察	28
窓口・納税	29
行事カレンダー	30・31
歴史散歩	32



Home Page Address
<http://www.city.takashima.shiga.jp>
Mail Address
t-info@city.takashima.shiga.jp

広報たかしま 2007.1.1発行

Takashima 2007 January No.34

発行・編集 高島市役所企画部秘書広報課
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町1-6番565番地 ☎074925-8130
高島市ホームページ <http://www.city.takashima.shiga.jp>
高島市メールボックス t-info@city.takashima.shiga.jp

高島市 歴史散歩

No.25

正月の儀礼と行事

高島市内では、現在も各地域や家庭などに、さまざまな正月の儀礼や行事が受け継がれています。

正月は、いうまでもなく新年の始まりであり、新しい年を迎える大切な時期として古くから数多くの儀礼や行事等が行われてきました。

正月に年神がやどる目印として家の入口に飾られるのが門松です。門松は、平安時代の貴族



▲神社の正月飾り

の日記にも登場するほどの古い習慣で、飾るものは必ずしも松に限らず、榊やヒイラギなどもよく飾られました。また地域によっては、門松に、年神への供え物を入れるための藁でつくった食器をくくりつけることがあり、これに近い習慣は、市内でも今津町日置前で「ヤソツボ」と呼ばれる藁の食器を作る例に見られます。



▲ヤソツボ

また家の入口の扉などに飾られることの多い注連縄は、神聖な場所を他の場所と区別するための縄で、本来は、家全体または部屋の四方にぐるりと長い縄を張り巡らすものでしたが、今では略されて家の入口や屋内の神などに張られることがほとんどです。

(文化財課)



雨上がり、太陽の光に誘われて、空に大きな橋が架かります。(新旭町針江にて)

編集後記

▼高島時雨の時期は、美しい虹がよく観られます。虹は、空を眺める余裕を思い出させてくれます。虹の色は赤・橙・黄・緑・青・藍・紫の7色です。この色の数がドレミの7音階から決まったと聞くと、虹を見るたびに、さらに夢が広がります。

▼澄み切った空に、色とりどりの熱気球が浮かびました。今月の表紙は「第30回熱気球琵琶湖横断」の様子をご紹介します。熱気球はハンドルなどで行く方向を決められないので、行きたい方向の風を捕まえるのがパイロットのテクニック。でも、風は目に見えないので、肌で感じ取ったり、雲や木々の動き、鳥や虫の動きまでも見て、地上からの情報や、熱気球に当たるかすかな風の音などを聞き、その風の層にいられるよう温度調節をするとか。自然を相手にするには、研ぎ澄まされた感覚が必要なのです。私たちにもそんな感覚を磨いて、刻々と変化する風をつかみたいものです。

(広報担当O)

